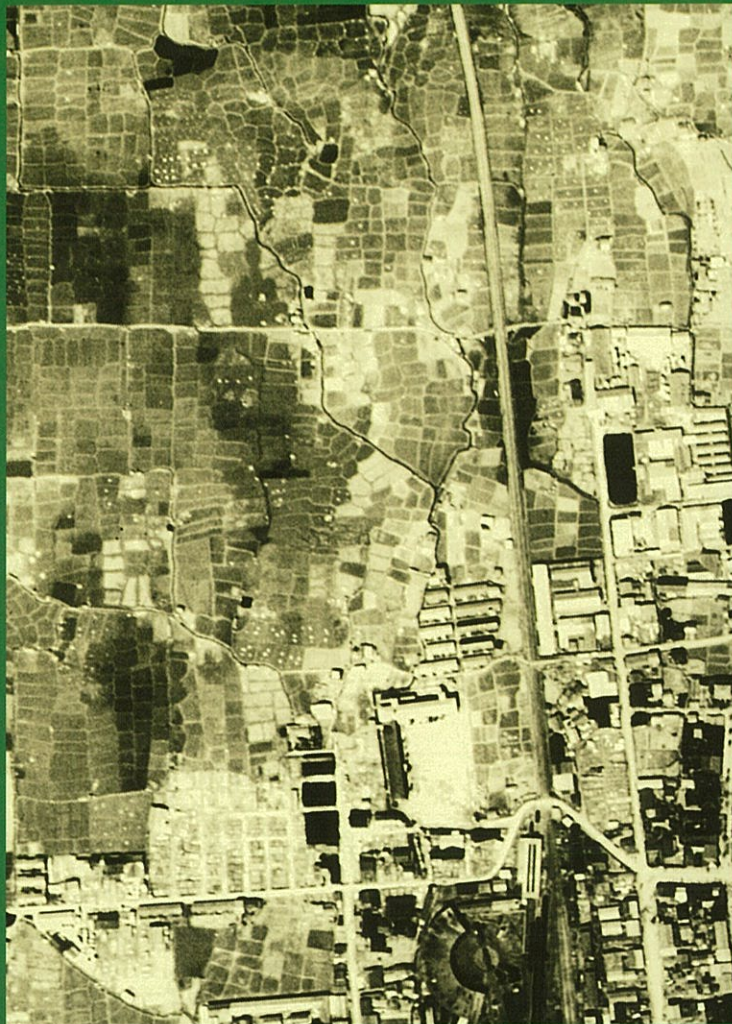


飛驒の匠 文化講演会

高山盆地に古代水田発見！



高山盆地の空中写真(昭和23年)



空中写真拡大・岡本町周辺の水田

飛驒匠100人を輩出した条里制を探る

奈良時代、国の民には一定面積の口分田(くぶんでん)が与えられています。満6歳に達している男には2段、女にはその3分の2を与え、死亡したら収公しました。

土地はすべて国のもので、民に貸与するという「班田収授の法」制度でした。奈良時代における土地制度の根本をなす制度です。この制度を基準に、50戸からなる「里(り)」から匠10人が出役しています。

明治21年の字絵図により高山盆地の条里制が発見されました。

概ね、109m四方に区切られた大きな水田の区画があり、その区画内に短冊状につくられた小さい水田があります。「条里型地割」が残るといい、昭和23年、米軍が撮影した高山盆地の航空写真でも明らかになりました。

講演会の解説を通して、奈良時代の班田収授の農民に出会ってみましょう。

2025 10/19(日)

13:30~15:30

会 場／飛驒・世界生活文化センター ミニシアター 高山市千島町900-1

講 師／田 中 彰 元高山市郷土館長

入場無料 事前のお申し込みは不要です。
当日会場までお越しください。



飛驒・世界生活文化センター 指定管理者 飛驒コンソーシアム

tel.0577(37)6111

〒506-0032岐阜県高山市千島町900-1

主催／飛驒・世界生活文化センター 指定管理者 飛驒コンソーシアム・飛驒の匠学会